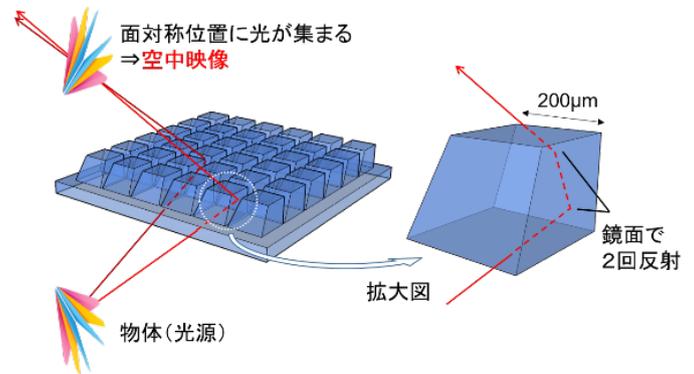


自社の強み・特徴

パリティ・イノベーションズは、NICTが開発した置くだけで何もない空中に映像を表示できる光学素子、「DCRA」を実用化するために、発明者である代表者が設立した会社です。

DCRAによる空中映像は、映像が視察される距離や方向に関わらず空中に確定した位置に見られ、現実の物体の様な存在感があります。まさに、SF映画で出てくるような映像表現を可能とする光学素子です。



DCRAの原理説明図

自社開発製品・サービス紹介

- 低コストで大量生産可能な100mm角樹脂製DCRA。
- 空中映像に指でタッチして操作できる、フローティングタッチディスプレイシステム。
- 光学シミュレーションソフトを用いた空中映像表示に関わる光学設計。



イメージ図

今後の展望 - 空中映像の将来 -

臨場感のあるバーチャル窓口



現実世界と重なる映像

指も画面も汚れないタッチパネル



未来感あふれる演出

基本情報

代表取締役: 前川 聡

(ユニバーサルコミュニケーション研究所 超臨場感映像研究室 出身)

本社

〒 619-0289 京都府相楽郡精華町光台3-5 NICTビル

TEL: 0774-98-6985

FAX: 050-3737-1134

研究所

〒 577-0065 大阪府東大阪市高井田中1丁目5-3

東大阪市立産業技術支援センター3F 第2企業育成室

TEL: 06-6753-8244

事業概要

- ・結像光学素子の研究開発
- ・空中映像と親和性の高い応用システムの開発

沿革

2006年 3月 代表者が、NICT主任研究員としてDCRAを開発し、特許出願

2010年12月 50mm角樹脂製光学素子の量産試作成功を受けて、
パリティ・イノベーションズ社設立

2013年10月 グランフロント大阪にて、エアフローティングメディアのイベント開始

2013年10月 SCIVAX社の協力により100mm角樹脂製光学素子の量産試作成功

2014年 2月 nano tech 大賞2014 独創賞受賞



エアフローティングメディアのイベントの様子